

経営協議会（第1回）議事要録

日時 令和元年6月10日（月）午前10時30分～午後0時25分
場所 中会議室
出席者 学長、遠藤、瀬戸、鈴木、松本、前田、宮内、岡、松岡、中地の各委員
欠席者 佐々木、田村、野中の各委員
配付資料 「国立大学法人宮城教育大学経営協議会委員名簿」
学長冒頭説明資料
資料1 「国立大学を巡る最近の動向について」
資料2 「平成31年度科学研究費助成事業採択結果について」
資料3 「防災教育研修機構の立ち上げについて」
資料4 「平成31年3月卒業者・修了者の就職状況について」
資料5 「平成31年度入学者選抜実施結果について」
資料6 「平成30年度防災教育未来づくり総合研究センター活動報告について」
資料7 「国立大学法人宮城教育大学学則の一部改正について」
資料8 「教員評価委員会委員の選出について」
資料9 「平成30事業年度業務実績報告書（案）について」
資料10 「平成30事業年度決算について」
資料11 「令和2年度概算要求（施設整備）について」
参考資料 「教員キャリア研究機構リーフレット」

学長挨拶

学長から、開催にあたり挨拶があった後、議事に先立ち、学長冒頭説明資料に基づき本学の状況及び令和元年度の大学運営方針等について報告があった。

議 事

○議事要録の確認

3月5日（火）開催の経営協議会（平成30年度第5回）の議事要録は、原案どおり確認した。

○報告事項

1. 国立大学を巡る最近の動向について

議長から概略説明の後、財務担当理事から、配布資料1に基づき報告があった後、意見交換を行ったところ、次の意見等があった。

- ・国立大学の教員養成系単科大学の維持、存続について各方面から問われている昨今の状況で、宮城教育大学が一法人一大学として堅持し、東北地域に貢献し、教員就職率85%を目指すということであれば、早急に改革方針を定め実行に移す必要がある。

2. 平成31年度科学研究費助成事業採択結果について

総務担当理事から、配付資料2に基づき報告があった。

3. 防災教育研修機構の立ち上げについて

連携担当理事から、配付資料3に基づき報告があった後、意見交換を行ったところ、次の意見等があった。

- ・宮城教育大学ならではの特色ある取組みであるため全面的に売り出してアピールすべきである。

4. 平成31年3月卒業者・修了者の就職状況について
連携担当理事から、配布資料4に基づき報告があった後、意見交換を行ったところ、次の意見等があった。
 - ・売り手市場を反映しての教員志望者の減少は深刻な問題であり、県・市は、教員の職業としての魅力のPR、働き方改革を含めた労働環境の改善、教員の指導力の向上などに取り組んでいるところであり、宮城教育大学と連携して今後も諸施策を進めていきたい。
 - ・教員就職率を上げるためには、教員指向性の高い志願者を獲得するための入学試験実施が必要である。
5. 平成31年度入学者選抜実施結果について
学務担当副学長から、配布資料5に基づき報告があった。また、入試選抜方法が細分化されている点の問題について指摘があり、学務担当副学長から2020（令和4）年度入試に向けて抜本的に見直す検討を行っている旨の報告があった。
6. 平成30年度防災教育未来づくり総合研究センター活動報告について
旧防災教育未来づくり総合研究センター長から、配布資料6に基づき報告があった後、意見交換を行ったところ、次の意見等があった。
 - ・広島では原爆被害に基づいた平和教育をテーマに、スポーツ教育や国際理解などに展開している。東日本大震災を経験した本県においては、防災、自然災害から命をどう守るかなどをテーマとして教育や国際理解などに展開することも、今後検討すべきところと思われる。
7. その他
なし

○審議事項

1. 国立大学法人宮城教育大学学則の一部改正について
総務担当理事から、配付資料7に基づき説明があり、審議の結果、承認した。
2. 教員評価委員会委員の選出について
議長から、配付資料8に基づき説明があり、審議の結果、田村委員（任期：令和3年3月31日まで）を選出した。
3. 平成30事業年度業務実績報告書（案）について
総務担当理事から、配付資料9に基づき説明があり、審議の結果、承認した。
4. 平成30事業年度決算について
財務担当理事から、配付資料10に基づき平成30事業年度の財務諸表について説明があり、審議の結果、承認した。
5. 令和2年度概算要求（施設整備）について
財務担当理事から、配付資料11に基づき説明があり、審議の結果、承認した。
6. その他
なし

以上